

10月4日、読売ブリッジサロンのアンケートにてご参加者の皆様からいただいたご質問への回答です。

Q1: オークションという市場はどれくらいのものなのか。M&A を考えているか。

→ 日本国内の美術品オークション市場は 2007 年暦年で約 235 億円(当社調べ)、世界のオークション市場は 6,000 億円以上(artprice より)となっております。2008 年に入ってから、世界経済の減速懸念が一層強まる状況となり、美術品オークション市場にも停滞感がありますが、日本のオークション市場はまだまだ成長余力を残しており、この停滞期を抜けると新たな成長期へ突入すると予想しております。M&A に関しては、海外のオークションハウス等、今後の海外事業展開に有利となり得る案件がある場合は、検討させていただきます。

Q2: 他の会社とプレゼンが違うのは何故？

→ リアルオークションという一般的にはあまり知られていない事業ですので、業績のお話よりも弊社のビジネス(美術資産の換金システム等)について中心にお話させていただきました。

Q3: 万一出品時には傷などない状態の美術品に傷や汚れ等がついた場合はどうなるか。

→ 出品作品にはすべて保険をかけており、作品の取扱いには十分注意しておりますが、万一の場合には修復等の対応をいたします。

Q4: 配当は 2,500 円お支払いできるのですか？

→ 現在のところ、今期の配当予想に変更はありません。

Q5: 一部の富裕層だけでなく、もっと美術品に関心を持ってもらうようになれば良いが、

日本の美術館の来場客数などを見ると、日本人は美術品に非常に関心を持っていると考えられますが、所有することに関しては、まだまだ浸透してるとは言い難い状況ですので、今後も努力してまいります。

Q6: 営業を考えると 20%の手数料をとってもかなり大変だと思う。その場合、どの程度のもので扱うのか、基準はあるのか(例:50 万円以下は扱わない等)

基本的にはどんなものでもお受けいたしますが、弊社オークションカタログの落札予想価格(エスティメイト)で一番低いものは¥50,000~¥100,000 で提示しており、査定金額が¥50,000 未満のものは業者間取引(交換会)等で対応させていただいております。

Q7: エンタメ感覚で参加できるようなオークションはあるか。初心者向けオークション講習会などしても良いのでは？

近代美術 Part II オークションは、¥50,000~¥100,000 のものから出品しておりますので、エンターテイメント感覚でご参加いただけます。また、コンテンポラリーアートオークションにも一部¥50,000~¥100,000 があります。なお、オークションで競りに参加されなくても、見学はいつでも承っておりますので、お気軽にお越し下さい。独特の緊張感の中、スピード感あふれるオークショニアのコールによって、次々とさまざまなアイテムが落札されていく様子は、エンタメ感覚とは少し違うかもしれませんが、極上のエンターテイメントであることは間違いありません。

Q8: アジア以外の富裕層を相手にしたいとのことだが、既に実績のあるオークション会社と対抗するには偶然を期待するしかないように感じる。リスクは人材だと思うがリスク低減についてどう考えるのか。

→ 近代美術の一部とコンテンポラリーアートオークションには既に、アジア以外の富裕層のお客様にご参加いただいております。為替の状況によっては、同じような作品が欧米のオークション会社よりも弊社のオークションの方が高値で落札された例もございます。世界はグローバル化しており、お客様は欲しいものがあるところに参加されますので、出品内容により十分可能性があり、また、弊社のことを知らない方が弊社のオークションへの参加を検討される場合には、弊社が日本で唯一上場しているオークション会社であることが安心感にもつながると考えております。

人材については、例えばオークションを運営する社員が一度に多数辞めてしまうようなことがあれば問題となりますが、弊社は創立時より現在まで離職率は非常に低く推移しており、このようなことは考えにくいと認識しています。

Q9: 高価な美術品・文化財などを発注する手段等どうなっているか。

→ オークションは、美術品を売りたい方と美術品を買いたい方のマッチングの場を提供する一つの手段です。よって弊社から美術品や文化財等を発注することはございません。なお、文化財の出品については、作品により一定の制限がある場合もありますが、基本的には通常の作品と同様に出品いただけます。

以上

今後とも、シンワアートオークション株式会社をご贖賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。